

第2回 ヨウ素利用研究シンポジウム プログラム

- 日時：平成11年10月16日(土) 9:30～17:30
- 場所：千葉大学けやき会館大ホール
- 主催：ヨウ素利用研究会
- 共催：(社)日本化学会、日本ヨード工業会
- 協賛：(社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、(財)千葉県工業技術振興センター、千葉大学共同研究推進センター、千葉工業大学技術・情報センター

プログラム< I 部: 講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体/講演者名
<挨拶> 横山 正孝 (ヨウ素利用研究会・会長)			
(座長: 横山 正孝)			
1	9:30～10:30	<特> Iodonium Zwitterions in Organic Synthesis 有機合成におけるヨードニウム双性イオン化合物	Univ. of Thessaloniki (ギリシャ) Prof. A. Varvoglis
2	10:30～11:00	New Hypervalent Iodine Reagents 新しい超原子価ヨウ素反応試剤	Univ. of Minnesota (米国) Prof. V.V. Zhdankin
(座長: 山口 達明)			
3	11:00～11:30	超原子価ヨウ素化合物の ¹²⁷ I メスバウアースペクトル ¹²⁷ I Mössbauer Spectroscopy of Hypervalent Iodine Compounds	東邦大学理学部 教授 竹田 満洲雄
4	11:30～12:00	ヨウ素によるネットワーク構造が織り成す分子性導体の特異な物性 Novel Physical Properties derived from the Iodine-based Network Structure in Molecular Conductors	千葉大学理学部 助教授 澤 博

< II 部: ポスター発表 >

開 場 12:00～14:20 発表と質疑 前半[奇数番号]13:00～13:40, 後半[偶数番号]13:40～14:20			
A	基礎篇	発表件数 17件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等
B	応用篇	発表件数 10件	資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等
C	実用篇	発表件数 4件	利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)

< III 部: 講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体名/講演者名
(座長: 村上 泰興)			
5	14:30～15:00	Drug Design of Low Osmolality X-Ray Contrast Media 低浸透圧造影剤の開発	Mallinckrodt Inc. (米国) Dr. Youlin Lin
6	15:00～15:30	X線造影剤の進歩と安全性 Progress of X-ray Contrast Media and the Adverse Reaction	山形大学医学部 教授 山口 昂一
7	15:30～16:00	放射性ヨウ素の医学的利用 Medical Uses of Radio-active Iodine	千葉大学薬学部 教授 荒野 泰
(座長: 江崎 正直)			
8	16:00～17:00	<特> Production Technology of Iodine in Chile チリ国におけるヨウ素製造技術	SQM S.A. (チリ) Dr. Armin Lauterbach
9	17:00～17:30	色素増感型太陽電池の将来性とヨウ素 Development of Dye-sensitized Solar Cells and Iodide Electrolyte	工業技術院 物質研 部長 荒川 裕則
17:45～19:30		懇親会(けやき会館レセプションホール)	

ポスター発表(一般講演)プログラム <基礎A, 応用B, 実用C>

番号	発表タイトル	○発表者・研究者	所属
A01	ヨウ素による一電子酸化を利用した有機スピ ン系の多重度変換	○菅原正・泉岡明・櫻井 尋海+	東大院総合・化学技術振興 事業団+
A02	含ヨウ素ドナーによる分子性導体の結晶設計 —21世紀のCrystal Architecture—	○今久保達郎・小林啓 二・澤 博+・加藤礼三++	東大院総合・千葉大院自然・ 理研++
A03	含ヨウ素中性分子を用いた新規分子性導体 の開発	○山本浩史・加藤礼三 +・山浦淳一++・前田涼 子++	学習院大・理研+・東大物性 研++
A04	ヨウ素を含む超臨界流体中のハロゲン化ナフ タレンのハロゲンK-XANES解析	○早川久仁子・藤川高 志・中川和道+・村田隆 紀++	千葉大院自然・神戸大発達 化学+・京教大物理++
A05	ヨウ化物の電子励起状態におけるスピン軌 道相互作用の理論的研究	○藪下聡	慶大理工
A06	溶液中で進行するCH ₂ I ₂ の特異な光誘起反応 —フェムト秒分光によるアプローチ—	○齋藤健一・内藤幸人 +・吉原経太郎++	千葉大院自然・科学技術振 興事業団+・北陸先端大++
A07	ヨウ素によるX線異常分散効果を利用した光 学活性化化合物の絶対構造の決定	○鶴田英之・山口健太 郎+・今本恒雄	千葉大理・千葉大分析センタ ー+
A08	アミド配位子を有するヨウ化サマリウム(II)錯 体の単離と構造	○西浦正芳○片桐幸輔 ○今本恒雄	千葉大理
A09	導電性多環芳香族—ヨウ素錯体の構造と物 性	○小沢幸三・長尾幸徳・ 内田登喜子	東理大理工
A10	キトサン・ヨウ素錯体の形成とその構造およ び分光特性	○矢島博文・鈴木喜博・ 近藤晃代・角田勝則・森 田正隆+・石井忠浩	東理大理・日立工機(株)+
A11	酸素存在下でのヨウ化フルオロアルキルの 光反応を用いたオキシフルオロアルキル化	○大越雅典・吉田正人・ 伊与田雅彦	都立大院理
A12	各種ヨードニトロ糖誘導体のNaBH ₄ 還元によ る一段階新環化反応	○大宮範子・鈴木範子・ 舟橋彌益男	千葉大理
A13	不安定ヨードニウムイリドの合成とその反応	○落合正仁	徳島大薬
A14	超原子価ヨウ素化合物を用いる液晶などの 新規機能性物質の合成	○北村二雄・藤原祐三	九大院工
A15	PhIO ₂ (V)を用いるミセル反応場でのスルフィ ド類の触媒的不斉酸化反応	○当麻博文・滝澤忍・北 泰行	阪大院薬
A16	(ジアセトキシヨード)ベンゼンを用いたN-ア ルキル(o-メチル)アレーンスルホンアミドの 環化反応	○加藤木正志・東郷秀 雄・横山正孝	千葉大理・千葉大院自然
A17	高分子リサイクル型超原子価ヨウ素物質変 換試剤の創製と展開	・東郷秀雄○阿部誠一 朗・横山正孝	千葉大理・千葉大院自然
B01	ArIF ₂ の電解合成とこれを用いる有機フッ素化 合物合成	○米田徳彦・原正治・福 原彊	北大院工
B02	アルキルアンモニウム—ヨウ化金薄膜の光 特性制御	○小笹健仁・牛島洋史・ 鎌田俊英	工技院 物質研
B03	クロラミン-Tを窒素源とするヨウ素触媒によ る複素環合成法の開発	○南方聖司・鹿野大介・ 柳日馨・小松満男	阪大院工
B04	ナイロン6—ヨウ素コンプレックスの構造と機 能	○川口昭夫	京大原子炉

B05	ヨウ素イオン存在下でのポリアニリン電極の温度特性	○島田恵理子・芳賀悟・南保・伊熊泰郎・橘孝二+	神奈川工大・東理大+
B06	ヨウ素/PVAを用いた感熱記録材料	山岡亜夫・橋本樹+・井上泰史+・宮川信一○高原茂	千葉大工・日東電工(株)+
B07	有機溶媒系における金の可逆的な溶解・析出	○中尾幸道	工技院 物質研
B08	ヨウ素と硫黄を循環物質とした熱化学法による水素製造技術	小貫薫・中島隼人○清水三郎・倉田有司○二川正敏・井岡郁夫	日本原子力研究所
B09	千葉県の温鉱泉水およびガス田付随水中のヨウ化物イオン含量	○今橋正征・高松信樹・加藤尚之+・相川嘉正+	東邦大理・東邦大医+
B10	アマ胚軸からの不定芽形成におけるオーキシン輸送阻害剤(2,3,5-トリヨード安息香酸、Morphactin)の効果	○石川恵子・鎌田博+・原田宏+	千葉大園芸・筑波大生物科学+
C01	Iodinated X-Ray Contrast Media	○Youlin Lin○矢内信介	Mallinckrodt inc.,USA・マリンクロットジャパン(株)
C02	放射性ヨウ素の医学的利用	○吉村弘一	日本メジフィジックス(株)
C03	超原子価ヨウ素試薬	○小野沢孝	東京化成工業(株)
C04	ヨードを利用した環境衛消費材の開発	○福垣岳宣・中村善彰・村上有司	サンスター(株)